

システム必要条件

オペレーティング システム

Nintex Workflow 2007 は Microsoft Windows Server 2003 または 2008 にインストールする必要があります。

ブラウザ クライアント

Microsoft Internet Explorer 6.x (ただし Microsoft Internet Explorer 7 以降を推奨)。

ソフトウェア

Nintex Workflow 2007

では、次のソフトウェアがインストールされ、正しく構成されている必要があります。

- Microsoft Windows SharePoint Services 3.0 または Microsoft Office SharePoint Server 2007
- Microsoft .NET Framework 3.5
- Windows Server 2003 または 2008
- SQL Server 2000、2005 または 2008

注意: Nintex Workflow 2007 はスタンドアロンの SharePoint が使用している Windows Internal Database には接続できません。

目次

1. Nintex Workflow 2007 のインストール	3
1.1 インストーラーの実行.....	3
1.2 ソリューション パッケージの展開.....	3
1.3 Nintex Workflow 2007 Enterprise の各種機能のインストール (オプションの追加機能) .	4
1.4 ライセンスのインポート.....	4
2. データベース構成.....	5
2.1 データベースの構成.....	5
2.2 コンテンツ データベースの追加 (オプションの追加機能)	5
3. Nintex Workflow 2007 サーバー設定の構成	6
3.1 Web アプリケーションのアクティブ化	6
3.2 Nintex Workflow 2007 ワークフロー アクションの有効化	6
3.3 電子メール設定の構成.....	6
3.4 LazyApproval™ 設定の有効化と構成 (オプションの追加機能)	6
4. Nintex Live (オプションの追加機能)	7
4.1 ソリューション パッケージの展開.....	7
4.2 Nintex Live の有効化と接続.....	7
5. 機能のアクティブ化.....	8
5.1 サイト コレクションのアクティブ化.....	8
5.2 チーム サイトのアクティブ化.....	8
5.3 チーム サイト用Nintex Workflow 2007 Enterprise 機能のアクティブ化 (オプションの追加機能)	8
付録 A: User Access Control (UAC) に関する注意事項	10

1. Nintex Workflow 2007 のインストール

1.1 インストーラーの実行

1. ソリューションおよび機能を展開するのに十分な特権を持つ SharePoint 管理者としてサーバーにログインします。 インストーラー ファイル (msi) をダブルクリックして [Next] (次へ) をクリックします。

注意 : User Access Control (UAC) を有効にしている場合は、付録 A を参照してください。

2. 使用許諾契約書に目を通します。 インストールを続けるには、 [I Agree] (同意します) を選択する必要があります。 [Next] (次へ) をクリックします。
3. Nintex Workflow 2007 のインストール場所を選択します。 既定の場所は「C:\Program Files\Nintex\Nintex Workflow 2007\」です。選択後、 [Next] (次へ) をクリックします。
4. SharePoint に今すぐソリューションを追加するか (推奨)、後で stsadm を使用してインストールするか (詳細設定) を選択します。
5. Nintex Live をインストールするかどうかを選択します。 これにより Nintex Live への接続に必要な Nintex Live コネクタがインストールされます。 [Next] (次へ) をクリックします。

注意 : Nintex Live をご使用になるには、こちらから Nintex ライセンス情報をご覧ください。
<http://www.nintex.com/licensing>

6. 続行する準備ができたというメッセージが表示されます。 [Next] (次へ) をクリックします。
7. 今すぐソリューションを追加することを選択した場合は、コマンド プロンプト ウィンドウが表示され、まもなく表示されなくなります。 少し経つと [Installation complete] (インストール完了) 画面が表示されます。 [Close] (閉じる) ボタンをクリックします。 SharePoint Central Administration がバックグラウンドで読み込まれているはずですが。

1.2 ソリューション パッケージの展開

「nintexworkflow2007.wsp」 というソリューションが表示されます。

「nintexworkflow2007enterprisefeatures.wsp」 というエントリも表示されますが、こちらは Enterprise バージョンのライセンスをお持ちの場合にのみ展開してください。

1. 「nintexworkflow2007.wsp」 リンクをクリックし、ツール バーの [ソリューションの展開] リンクをクリックします。
2. [展開先] セクションで [すべてのコンテンツ Web アプリケーション] が選択されていることを確認し、 [OK] ボタンをクリックします。

3. 少し経つと [ソリューション管理] ページに戻ります。 Nintex Workflow 2007が [展開済み] として表示されているはずです。

1.3 Nintex Workflow 2007 Enterprise の各種機能のインストール (オプションの追加機能)

1. [サーバーの全体管理] で [サーバー構成の管理] をクリックします。
2. [グローバル構成] で [ソリューション管理] をクリックします。
3. 「niteworkflow2007enterprisefeatures.wsp」リンクをクリックし、[ソリューションの展開] をクリックします。
4. [展開先] セクションで [すべてのコンテンツ Web アプリケーション] が選択されていることを確認し、[OK] ボタンをクリックします。
5. 少し経つと [ソリューション管理] ページに戻ります。
6. 「NintexWorkflow2007EnterpriseFeatures.wsp」が [展開済み] として表示されているはずです。
「NintexWorkflow2007EnterpriseFeatures.wsp」を展開する手順を再度繰り返し、[サーバーの全体管理] Web アプリケーションを [展開先] に選択します。

注意: これは SharePoint サーバーの全体管理から管理レポートを実行するために必要です。

1.4 ライセンスのインポート

製品の全機能を使用できるようにするには、完全版製品ライセンスまたは評価版ライセンスのライセンス ファイルを Nintex から受け取る必要があります。受け取ったライセンス ファイルは、SharePoint サーバーの全体管理にインポートする必要があります。

1. [サーバーの全体管理] の [アプリケーション構成の管理] タブをクリックします。
[Nintex Workflow の管理] セクションで、[ライセンス] リンクをクリックします。
2. [Nintex ライセンス] ページの [インポート] ボタンをクリックします。
3. 参照ボタンでライセンスファイルを見つけ、見つかったら [インポート] ボタンをクリックします。
4. ライセンス情報が表示されます。

これで Nintex Workflow 2007 のデータベース構成に進むことができます。

2. データベース構成

2.1 データベースの構成

1. [サーバーの全体管理] の [アプリケーション構成の管理] タブをクリックします。
2. [Nintex Workflow の管理] セクションで [データベースの設定] をクリックします。
3. [構成データベース] の下の [作成] ボタンをクリックします。
4. お使いのデータベース サーバー名を入力します。

注意：既定では、データベース サーバー名は既定のSharePoint データベースサーバーとなります。

5. データベースの名前を入力します。

注意： Nintex Workflow 2007

では複数のデータベースを使用して、1つを構成用に、その他をコンテンツ用に使用することができます。既定では、構成データベースはコンテンツデータベースも兼用します。オプションでさらにデータベースを追加することもできます。

6. [OK] をクリックします。

2.2 コンテンツ データベースの追加（オプションの追加機能）

1. [コンテンツ データベース] セクションで [コンテンツ データベースの追加] リンクをクリックします。
2. コンテンツデータベースを追加するには、[既存データベースに接続] を選択して [OK] をクリックします。

3. Nintex Workflow 2007 サーバー設定の構成

3.1 Web アプリケーションのアクティブ化

1. [アプリケーション構成の管理] タブをクリックし、[Nintex Workflow 管理] セクションの [Web アプリケーションのアクティブ化] をクリックします。
2. 既定の Web アプリケーション名が自動選択されます。
[アクティブ化] ボタンをクリックします。

3.2 Nintex Workflow 2007 ワークフロー アクションの有効化

1. [アプリケーション構成の管理] タブをクリックし、[Nintex Workflow 管理] セクションの [許可されたアクションの管理] をクリックします。
2. Workflow Designer に表示するアクションを選択し、[OK] をクリックします。

3.3 電子メール設定の構成

1. [アプリケーション構成の管理] タブをクリックし、[Nintex Workflow 管理] セクションの [グローバル設定] をクリックします。
2. 使用環境に適した詳細を入力し、[OK] ボタンをクリックします。

3.4 LazyApproval™ 設定の有効化と構成（オプションの追加機能）

1. [アプリケーション構成の管理] タブをクリックし、[Nintex Workflow 管理] セクションの [LazyApproval™ 設定] をクリックします。

注意： [サーバーからの受信メールを設定] リンクが表示された場合、この設定は SharePoint 用に構成されていません。SharePoint 構成マニュアルの説明に従って構成を行い、構成完了後にこのページに戻ってください。設定が構成済みの場合は [LazyApproval™ の有効化/無効化] リンクが表示されます。

2. [LazyApproval™ の有効化/無効化] をクリックします。
3. [有効] オプションを選択します。通知を送信したり LazyApproval™ の返信を受信したりする際の別名に名前として使う「エイリアス」名の入力を求められます。[OK] ボタンをクリックします。
4. 使用可能な語句の一覧が表示されます。これらの語句は LazyApproval™ 処理で認識されるもので、ユーザーが適宜語句を追加したり削除したりすることもできます。終了したら [OK] ボタンをクリックします。

4. Nintex Live (オプションの追加機能)

Nintex Workflow の Nintex Live機能を使用すると、Nintex Live カタログからNintex Workflow アクション ツールボックスに各種の Web サービスを追加できます。

注意： Nintex Live への接続には Nintex Live コネクタをインストールする必要があります。本ガイドのセクション1.1、手順5で「Nintex Liveのインストール」を行わなかった場合は、「nintexworkflow2007liveconnector1.wsp」のインストールと展開を手動で行ってください。「nintexworkflow2007liveconnector」は Nintex Workflow 2007 インストレーション フォルダ内にあります。

4.1 ソリューション パッケージの展開

1. [サーバーの全体管理] に移動して [サーバー構成の管理] をクリックします。
2. [グローバル構成] で [ソリューション管理] をクリックします。
3. 「nintexworkflow2007liveconnector.wsp」リンクをクリックし、さらにツールバーの [ソリューションの展開] リンクをクリックします。
4. これで Nintex Live コネクタがグローバルに展開されます。
[ソリューションの展開] ページの [OK] ボタンをクリックします。
5. 少し経つと [ソリューション管理] ページに戻ります。 Nintex Live コネクタが [展開済み] として表示されているはずですが。

4.2 Nintex Live の有効化と接続

Nintex Live コネクタは、 Nintex Live との通信にインターネット接続を必要とします。

1. [サーバーの全体管理] ページに移動して [アプリケーション構成の管理] をクリックします。
2. [Nintex Workflow 管理] セクションで [Live 設定] をクリックします。
3. [Nintex Workflow 向けに Nintex Live を有効化] のセクションで [有効化] をクリックします。
4. [Nintex Live] セクションで [テスト接続] をクリックします。
5. Nintex Live への接続が確立可能な場合は、[接続成功] というメッセージが [テスト接続] ボタンの下に表示されます。
6. [OK] をクリックします。

注意： お使いのネットワークでインターネット接続にプロキシサーバーが必要な場合は、[プロキシサーバー] セクションにサーバーの詳細情報を入力してください。これらの設定は Nintex Live コネクタに特定のものであり、インターネット接続が許可される唯一のアプリケーションとなります。

5. 機能のアクティブ化

5.1 サイト コレクションのアクティブ化

1. 最上位のサイト レベルのホーム ページに移動し、[サイト アクション] > [サイト設定] の順にクリックします。
2. 右側の [サイト コレクションの管理] 列で [サイト コレクションの機能] をクリックします。
3. [Nintex Workflow 2007] セクションで [アクティブ化] ボタンをクリックします。
4. 少し待つとページが更新され、ステータスが [アクティブ] になります。
5. このサイト コレクションのチーム サイトで Nintex Workflow の Web パーツを使用するには、[Nintex Workflow 2007 Web パーツ] セクションで [アクティブ化] をクリックします。
6. Nintex Live への接続をサポートするインフラストラクチャを加えるには、[Nintex Workflow Live インフラストラクチャ] セクションで [アクティブ化] をクリックします。

注意： この機能のアクティブ化は、Nintex Live カタログ機能をアクティブ化する前に行ってください。

7. このサイト コレクション内のサイトで Nintex Live カタログを使用するには、[Nintex Live カタログ] セクションで [アクティブ化] をクリックします。

これでチーム サイトでも Nintex Workflow 2007 機能をアクティブ化できるようになります。

5.2 チーム サイトのアクティブ化

チーム サイト用に Nintex Workflow 2007 を有効にする方法は、サイト コレクションを有効にする手順と同じですが、手順 2 だけが異なります。

1. 最上位サイト レベルのホーム ページで [サイト アクション] > [サイト設定] をクリックします。
2. 右側の [サイトの管理] 列で [サイトの機能] をクリックします。
3. [Nintex Workflow 2007] セクションで [アクティブ化] ボタンをクリックします。
4. 少し待つとページが更新され、ステータスが [アクティブ] になります。

これで Nintex Workflow 2007 の操作およびデザインが可能になります。

詳細については、Nintex Workflow 2007

機能を使用するどのページからでもアクセスできる製品ヘルプ ファイルを参照してください。

5.3 チーム サイト用Nintex Workflow 2007 Enterprise 機能のアクティブ化 (オプションの追加機能)

チーム サイト用に Nintex Workflow 2007 Enterprise

機能を有効にする方法は、主機能のアクティブ化手順と同じです。

1. 最上位サイト レベルのホーム ページで [サイト アクション] > [サイト設定] をクリックします。
2. 右側の [サイトの管理] 列で [サイトの機能] をクリックします。
3. [Nintex Workflow 2007] セクションで [アクティブ化] ボタンをクリックします。
4. [Nintex Workflow 2007 Enterprise Reporting] セクションで [アクティブ化] ボタンをクリックします。

これで Nintex Workflow 2007 の操作およびデザインが可能になります。

詳細については、Nintex Workflow 2007

機能を使用するどのページからでもアクセスできる製品ヘルプ
ファイルを参照してください。

付録 A: User Access Control (UAC) に関する注意事項

使用環境で UAC が有効になっている場合は、管理者特権で msi を実行する必要があります。

1. [スタート] メニューをクリックし、[コマンドプロンプト] オプションを右クリックします。 [管理者として実行] を選択します。
2. 警告ダイアログが表示された場合は、[続行] をクリックして [Windows コマンドプロセッサ] を開きます。
3. 「`msiexec /i c:\nintexworkflow2007.msi`」というコマンドを入力します。

注意： パスを `msi` ファイルのダウンロード先の場所に置き換えます。